

会報100号に寄せて

日本・カタルーニャ友好親善協会
名誉会長 林屋 永吉



創立以来会長をつとめてまいりました私にとって、日本・カタルーニャ友好親善協会の会報アミックスがこの度100号を迎えることは、大変うれしいことでございます。この会報は、長い年月の間、サイズや印刷方法を変更しながら、なんとかこうして100号までこぎつけることができましたが、これも、ひとえにこれを支えてくださった関係者皆さまのおかげであり、この方々からも記念号にたくさんのお祝いのお言葉をいただいて、ありがたく存じます。

報道等でも周知の通り、近年、カタルーニャでは独立を求める運動がさかんになり、本年秋にはその賛否を問う住民投票が開かれるということも聞いております。いま、カタルーニャは大きな渦のなかにあるとはいえ、当協会は文化交流を目的としており、政治活動には関与することなく歩んでまいりました。これからもそのスタンスを変えることなく冷静に情勢を見守りながら、魅力あふれる豊かなカタルーニャの文化を通して日本との友好親善を図る当協会がさらなる発展をしますことを願って、100号のご挨拶とさせていただきます。

2014年1月

ごあいさつ

日本・カタルーニャ友好親善協会
会長 谷 喜久郎



この度、私、日本・カタルーニャ友好親善協会会長に就任いたしました。これまで、専務理事をつとめておりましたが、林屋永吉氏が名誉会長になられるにあたり、会長をつとめることとなりました。どうぞよろしくお願いします。

当協会は、元スペイン大使の林屋永吉氏と私を中心となり、その他の各方面の様々な方々の多大なご協力を得て、カタルーニャのお祭りサン・ジョルディの日を日本に紹介することを主な目的として、1985年に設立されたものです。当時は、スペイン民主化から十分な年月が経過しておらず、カタルーニャは世界的にあまり知られていませんでした。そのようなときに、日本で設立された当協会を州政府首相ブジョル氏が全面的に賛同くださったことを昨日のことに思い出します。

会報アミックスは、当協会創立間もない1987年4月に創刊、以来、こつこつとカタルーニャおよびスペインの話題を広く紹介してまいりました。当時は、カタルーニャの情報がほとんどなく、日本でカタルーニャ語を勉強する人も皆無に等しい状態でした。そのようなところから、情報過多になった現在も、『アミックス』がその一定の存在価値を維持していることはうれしいことです。そして、今回、記念すべき100号で就任ご挨拶することも何かの巡り合わせといえましょう。

こうして、これまで協会活動および会報発行を継続できましたのも、会員や関係者皆さま方のご協力のおかげです。ちょうど日本スペイン交流400周年にあたるこの時期に私たちの『アミックス』が100号を迎えたことも偶然でないかもしれません。

これからも協会活動を応援くださいますよう、お願い申し上げます。

2014年1月